



(10) 消防・救急体制の充実
 多種多様な災害に対応するために、地域で活躍する消防団員を確保し、短期人間ドックを実施するなど、福利厚生にも努め、老朽化した消防車両や安全装備品の更新、消防水利を計画的に整備し、消防力の強化を図ってまいります。
 救急・救助の強化、充実に図るため、救急車両の更新、救助資機材の計画的な整備を行ってまいります。
 高度な知識・技術・判断力を高めるため、研修会や講習会への参加、また、上部教育機関等での受講や再教育にも努めてまいります。

火災予防等の推進については、避難訓練や消火訓練の実施、一人暮らし高齢者への防火訪問により、火災に対する意識の高揚に努めてまいります。

(11) 防災体制の強化
 近年の異常気象がもたらす災害により、町民に対して防災に関する知識の普及、啓発を引き続き図るとともに、地域防災計画等の見直しを進めてまいります。

災害時における情報伝達手段の確保については、八雲地域において、戸別受信機など確実に情報が伝わる手段を検討してまいります。

災害時備蓄品の整備については、必要性の高い物資の備蓄を継続して進めていくとともに、各種災害協定の締結を推進することで、緊急時の体制を整備してまいります。

河川および排水路については、現況施設の状態を把握し、適正な維持管理と計画的な修繕の実施を進め、災害に強いまちづくりを目指してまいります。

熊石地域では、北海道立総合研究機構と連携・協力し、

防災力の向上を計画的に進めてきており、津波、土砂災害等を含めた総合ハザードマップを作成し、さらなる安心・安全のまちづくりのため、行政、地域、住民がそれぞれの役割を認識し、防災対策の強化を図ってまいります。

2. 八雲の豊かな資源を活用した産業振興

(1) 農林業の振興

地域経済の基礎を担う農業の持続的発展が図られるよう、情勢変化に対応した「強い農業づくり」のための政策と、農業・農村が有する多面的機能維持に関する政策を柱として、国や北海道の制度を積極的に活用しながら、生産者や関係機関、団体が一体となって、地域課題の解決に取り組んでまいります。

具体的には、農地の利用集積を図りながら、農業基盤の整備や、研修牧場を核とした新規就農者の育成確保、個別経営体の生産拡大と所得の増加に向けた取り組みを推進するとともに、農作業受託組織



の経営基盤の安定についても支援を進めてまいります。

また、環境に配慮した家畜ふん尿処理対策およびバイオマス資源の有効利用計画の策定、家畜衛生対策の強化、新規農作物の導入および拡大に向けた取り組みも継続して進めるとともに、地域農畜産物のブランド化、消費の拡大対策を進めてまいります。

林業については、森林資源の有効活用のみではなく、二酸化炭素吸収や治山・治水の環境対策を担う重要な資産と位置づけ、民有林や町有林の適正管理に努めるとともに、森林認証制度の積極的な活用、森林への理解を深める木

育活動等を実施してまいります。

また、森林環境譲与税による未整備森林対策、公共建築物などでの地域材利用の拡大、林業施策の集約化、機械化を通じた効率的な森林整備、多様な担い手対策の検討、生産基盤としての路網整備を推進してまいります。

(2) 水産業の振興

八雲町の水産業においては、主力であるホタテ養殖漁業では、稚貝の生育不良や大量への死の発生が、この3年間続き、今後も大幅な減産が予想され、ホタテ養殖漁家の経営において危機的な状況に陥ることが懸念されております。

これらの状況は、八雲地域のみならず、噴火湾全域での喫緊の課題となっており、関係自治体をはじめ噴火湾内各漁業協同組合と連携し、情報の共有を図り、ホタテガイの安定生産に向けた海洋環境の変化、ザラボヤなど有害生物への対策、生育阻害要因の原因究明や対策などについて、関係機関に要請してまいります。